

部局名	健康福祉部	所属名	長寿支援課	所属長名	小川 敏行	電 話	483-1151 内線2220
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3130		事務事業名称	老人福祉総務事業						短縮コード	経常	3130	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	老人福祉費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他					根拠法令等	老人福祉法・老人保健法							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
老人福祉法・老人保健法に基づき高齢者福祉事業の円滑な運営の推進														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測						総合計画の施策体系	5本の柱（章）	01	健康福祉都市をめざして					
高齢化の進展に伴い益々高齢者福祉事業の要望が増えてくる。							大項目（節）	02	社会福祉					
							中 項 目	04	高齢者福祉					
							小項目（施策）	01	高齢者福祉サービスの充実					
							細 項 目	01	保健福祉サービスの充実					
						実施計画の計画事業	1210	老人保健福祉計画策定事業						
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～ 平成22年3月		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市内在住の60歳以上の市民						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成19年度に実際に行ったこと： 高齢者福祉12事業の適正実施						
	※平成20年度に計画していること： 高齢者福祉12事業の適正実施						
意図 （何を狙っているのか）	高齢者福祉事業を総括的に管理する。						
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外						
区 分			単位	1 8 年度	1 9 年度		2 0 年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	市内在住の60歳以上人口	人	44, 974	46, 911	47, 469	50, 102
	指標 2						
	指標 3						
活動指標	指標 1	老人保健福祉計画等懇談会	回	0	0	0	0
	指標 2						
	指標 3						
成果指標	指標 1	保健福祉サービス等の利用者数	人	3, 920	4, 116	3, 886	4, 080
	指標 2						
	指標 3						
上位成果指標	指標 1						
	指標 2						
	指標 3						

コード		3130	事務事業名称	老人福祉総務事業			所属名	長寿支援課
			単位	1 8 年度	1 9 年度		2 0 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円	8, 279	6, 912	6, 684	4, 151	
		その他	千円					
	主な事業費の内訳			旅費35千円消耗品費90千円通信運搬費520千円委託料3542千円使用料及び賃貸借料3889千円	旅費37千円消耗品費60千円通信運搬費520千円委託料3105千円使用料及び賃貸借料2211千円	旅費37千円消耗品費59千円通信運搬費494千円委託料3105千円使用料及び賃貸借料2199千円	旅費37千円消耗品費84千円通信運搬費520千円委託料2422千円使用料及び賃貸借料1007千円	
人件費 (B)			千円	5, 678. 9	5, 366. 7	4, 518. 6	4, 518. 6	
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円	13, 957. 9	12, 278. 7	11, 202. 6	8, 669. 6	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由				
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	老人保健福祉計画に基づき、介護予防と生きがい施策を統合した安定したサービスを提供する。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある					
			☐ 結びつきが弱い・ない					
			☐ 評価対象外事項					
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	引き続き老人福祉法に基づく事業の推進をする。				
			☒ 達成していない					
			☐ 評価対象外事項					
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	法定事務並びに一般管理事務のため。				
☒ 可能性はない								
☐ 評価対象外事項								
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	現状の対象と意図により結果に結びつく					
		☐ 見直す必要がある						
		☐ 評価対象外事項						
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある	高齢者福祉12事業の適正実施に努めている。				
			☐ 効率性向上の可能性はある					
			☐ 両方可能性はある					
			☒ 可能性がない					
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等						
		☐ 臨時的任用職員等の活用						
		☐ I T 化等業務プロセスの見直し						
		☐ 受益者負担の見直し						
		☐ 類似事業との統合・役割見直し	類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)		
		☐ 上記以外の方法		2		実施主体 (所管部署)		
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある					
			☐ ない					

コード	3130	事務事業名称	老人福祉総務事業			所属名	長寿支援課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			老人福祉法に基づき事業を推進する。		
		☐ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
☐ 廃止							
☐ 休止							
☒ 現状のまま継続							
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			老人福祉に関わる総括的経費であり現状のシステムを継続する為の経費である。
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☐	☐	
			不 変	☐	☒	☐	
			低 下	☐	☐	☐	

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
特になし	

所属長コメント	事業計画策定による適正な実施と管理に努めていく。	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
	☐ その他	
	☐ 廃止	
	☐ 休止	
	☒ 現状のまま継続	